



INTERNATIONAL COMMUNICATIONS COUNCIL  
ICC ASIA PROGRAMME No. 3140001092359  
16-1, Aoba-dai, Kita-ku, Kobe-city, 651-1231 Japan  
<https://www.jv-campus.org/>  
<https://www.jv-campus.org/user/provider/198/>  
<https://www.jv-campus.org/user/course/346515/>

2022年11月11日

## 企画書

対象：大学生

2023年度ケンブリッジ大学夏期研修（ハイブリッド型）

文部科学省主導プロジェクト「大学の国際化促進フォーラム」JV-Campus

<https://www.jv-campus.org/>

<https://www.jv-campus.org/user/course/346515/>

本プログラムは、文部科学省主導プロジェクト「大学の国際化促進フォーラム」の活動の一環としてケンブリッジ大学ガートンカレッジと ICC International Communications Council が共同企画・運営するプログラムです。

1対1の個別レッスンのコースのチューターは、それぞれオックスフォード大学、ケンブリッジ大学、ロンドン大学（London School of Economics、Imperial College London、King's College London）いずれかの大学学位取得者で教授法の豊かな経験をもっています。主にオックスフォード大学とケンブリッジ大学の PBL（Problem-based learning）テュートリアル教育、課題に立脚しながら学修を進める方法、課題に基づく学修アプローチを実践します。

オンサイトと1対1の同時双方向型オンラインの組み合わせ、オンサイトとオンラインそれぞれのメリットを最大限に実践するハイブリッド型留学です。英語というコミュニケーションツールの習得に留まらず、人種、国籍の違いを越えて、多くの人が、国際性という感性を豊かにし国際理解について学びを深め新たな国際力を身につける機会となるよう、願っています。

- ・ 日程： A 日程：2023年7月23日(ケンブリッジ着)～2023年8月5日(ケンブリッジ発)  
B 日程：2023年8月6日(ケンブリッジ着)～2023年8月19日(ケンブリッジ発)  
C 日程：2023年8月20日(ケンブリッジ着)～2023年9月2日(ケンブリッジ発)

・ 場所： Girton College University of Cambridge UK

・ WEB 申込：<http://icc-edu.com/entryform/form.php>

・ 募集人数：各日程 30名～100名

・ 滞在形式：ケンブリッジ大学ガートン・カレッジ学寮および学食

・ 期間：14日間（ハイブリッド型）（A日程とB日程、B日程とC日程を合わせて受講も可能です。）

1対1オンラインレッスンを担当するチューターは300人以上登録しています。

午前一発信型英語研修

4技能の高度な熟練に加えて、分析力・説得力のディベート能力や、スピーキング、ライティングのプレゼンテーション能力のスキルを習得する。

CEFR A2 から B1 へ、B1 から B2 へ、B2 から C1 へと四技能を上げる。

午後1対1の個別オンラインレッスン 同時双方向型

PBL (Problem-based learning) テュートリアル教育

チューターと共に課題に立脚しながら学修を進める方法、課題に基づく学修アプローチを習得

下記コースから選択します。

### 1. **English Communication Course**

英語で読む、聴く、話す、書くという四技能の高度な熟練に加えて、よりの確でインパクトを与える表現を用いて、プレゼンテーションできるスキルの習得に努める。分析力・説得力のディベート能力や、スピーキング、ライティングのプレゼンテーション能力のスキルを習得する。

CEFR A2 から B1 へ、B1 から B2 へ、B2 から C1 へと四技能を上げる。

### 2. **Economics Course**

ミクロ経済学では個人や個々の会社を単位とする経済を取り扱う。一方、マクロ経済学では全体組織について学習する。本コースでは、マクロ経済学を理解するための基礎的概念や手段、例えば国民所得、財政赤字、国債、為替レートなどについての理論や測定を学ぶ。

### 3. **Business Management Course**

急激にグローバル化していっている世界経済機構において、受講生は、境界を超え、国際的な展望を持つために、財政、経済、人的資源、組織論、活動、仕組みが、いかに国家間の企業に作用しているか、グローバル企業が成り立っているかについて学習する。

### 4. **Data Science Course**

近年、社会や産業の活力を左右する要因の一つとして、データサイエンスや人工知能への理解や知識が「読み・書き・そろばん」的な素養として重視されるようになってきた。データを用いて新たな科学のおよび社会に有益な知見を引き出し、データにもとづいて合理的な判断を行い、的確な意思決定を導く。情報科学、統計学などを横断的に取り扱い、分野の専門知識、プログラミングのスキル、数学および統計の知識、データ分析など複数分野を組み合わせて、データから意味のある、有意義な本質を見抜くために必要な方法論について学ぶ。

### 5. **Computer Science Course**

本コースでは、受講生は、コンピューターサイエンスについてアルゴリズム的処理や計算機などについて要となる領域の理解を深める。理論的に解明するのみならず、いかにしてソフトや計算組織に組み合わせるか、という実践的課題も取り扱う。

### 6. **Mechanical Engineering Course**

機械工学は、機械の開発、運用、企画を取り扱う。本コースでは、受講生は、工学物理学と数学を連動させながら、企画から始まり整備・保存段階までの機械系について学習する。

### 7. **Civil Engineering Course**

私たちの周りにある道路、建物、橋、線路、発電所などは、土木工学を通して発展してきた。本コースでは、受講生は、私たちの社会が機能するために基盤となる数理的および組織的企画について探求する。

### 8. **Maths Course**

数学は、多岐にわたる分野で適用され、その根本的テーマとなるのが数学である。本コースは、導関数、定積分、微分積分を定義づけながら、代数、微積分、確率、統計、複素数が関わる様々な分野を検証する。

### 9. **Physics Course**

最も古い学問分野のひとつである物理学は私たちの世界観に革命的、劇的変化をもたらした。ケンブリッジ大学卒業生アイザック・ニュートンの業績もその一つである。本コースは、ニュートンに始まる古典物理学の突破口を取り扱う。受講生は相対性理論、量子力学、宇宙論を含む現代物理学の基礎を学習する。

## 10. Medicine Course

人の健康に深く関わっている神経と免疫力の機能について概要を習得する。本コースでは、心臓疾患や糖尿病のような現代病の原因は先天的か後天的かという議論について考察する。

## 11. Biology Course

生物学とは、植物から動物、人間まで全ての生物についての学問である。本コースでは、受講生は、遺伝学、分子生物学、環境生物学について学ぶ。

## 12. Chemistry Course

化合物を構成する原子間の結合、原子構造、化学平衡、、、これら全てがいかに人の生命の構造に関わっているか、化学の基礎について学習する。

## 13. Bespoke Course

上記以外のコース、例えば Political Science Course, Academic English Course, Creative Writing Course, International Law Course, Business & Entrepreneurship Course, International Relations Course, Logic Course, Psychology Course, など。

## 行 程

	AM	昼食	PM	夕食
Day 1	ケンブリッジ大学現地集合 (13:00 - 17:00)			
Day 2	<b>Intensive English</b>  英語4技能の習得。 加えて、気候変動、ジャーナリズム、LGBTQ+、人種、SDGs、多様性等々、グローバル社会における様々な問題について、ケンブリッジ大学生と活発に意見交換をしてください。	学食	ケンブリッジ オリエンテーション	学食
Day 3		学食	One-to-one Online lesson	学食
Day 4		学食	One-to-one Online lesson	学食
Day 5		学食	One-to-one Online lesson	学食
Day 6		学食	課題	学食
Day 7		自由時間 (ケンブリッジ大学生と課外活動) 自由時間の過ごし方は、Guidebook を参考にしてください。		
Day 8	自由時間 (ケンブリッジ大学生と課外活動) 自由時間の過ごし方は、Guidebook を参考にしてください。			学食
Day 9	<b>Intensive English</b>  英語4技能の習得。 加えて、気候変動、ジャーナリズム、LGBTQ+、人種、SDGs、多様性等々、グローバル社会における様々な問題について、ケンブリッジ大学生と活発に意見交換をしてください。	学食	課題	学食
Day 10		学食	One-to-one Online lesson	学食
Day 11		学食	課題	学食
Day 12		学食	One-to-one Online lesson	学食
Day 13		学食	課題	学食
Day 14		コース終了・現地解散		

留学費用：2,780 GBP/1人（2023年4月30日までのお申込みに適用されます）

留学費用に含まれるもの

1. 申込登録費（500 GBP/1人）申込登録費は返金不可です。
2. プログラム費
  - ① ケンブリッジ大学ガートン・カレッジ登録
  - ② 学費（授業料および教材）（オンライン オンサイト）
  - ③ 宿泊費：ケンブリッジ大学ガートンカレッジ学寮  
（個室、シャワー、トイレは、ケンブリッジ大学生と共用）
  - ④ 食事：ケンブリッジ大学学食 滞在中、大学の食堂で食券（A swipe card）を使って食事をします。食券には1日につき約2食分の食事代が入っています。
  - ⑤ Wifi アクセス
  - ⑥ 課外活動参加費用（一部有料）

留学費用に含まれないもの

1. 往復渡航費（航空機代）
2. お小遣い
3. 海外旅行傷害保険（研修参加者は海外旅行傷害保険の加入を義務付けています。）
4. 査証申請費用（ICC International Communications Council は申請に必要な Letter of Acceptance を発行いたしますが、申請は、本人ご自身が手続きをしてください。）
5. 通学費用（通学は、徒歩、自転車、または路線バスを利用）
6. 延泊費用（英国に延泊せざるを得ない状況になった場合は、安全で安心のできる環境を準備いたしますが、それに伴う追加費用は参加者ご自身の海外旅行傷害保険で賄ってくださいますようお願いいたします。）

留学費用の支払いについて

1. 留学費用は、申込登録費（500 GBP/1人）とプログラム費から成る。
2. 申込登録費は、返金不可です。
3. 入金が確認できない場合は研修の受講を認めません。
4. インボイスを受け取って、コースコードを確認してください。
5. 留学費用は、英国ポンド建てで下記の口座宛て電送くださいますよう、お願いいたします。
6. 外国送金にかかる銀行手数料は、送金者をご負担くださいますようお願いいたします。

Account Name:	International Communications Council
Bank:	HSBC
Branch:	New Bond Street
The address of the Branch:	129 New Bond Street, London W1A 2JA England
Bank Account Number:	21715798
SWIFT Code:	HBUKGB4107C
IBAN Code:	GB44HBUK400501 21715798
Branch Sort Code:	40-05-01

## キャンセル・損害賠償について

1. キャンセルは、文書（メールを含む）で知らせなければならない。メール発信日をキャンセル通知日とする。
2. キャンセルに伴う返金は、受講生名義の銀行口座に送金日の為替レートでポンド建てで送金する。
3. 返金する際は、返金を合意して最長 45 日以内に、受講者名義の口座宛てに、送金日の為替レートで、英国ポンド建てで返金する。
4. キャンセル料は、研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる 4 週間前から発生する。
5. 研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる 4 週間前にキャンセルした場合、プログラム費の 80%を返金する。申込登録費は返金しない。
6. 研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる 3 週間前にキャンセルした場合、プログラム費の 40%返金する。申込登録費は返金しない。
7. 研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる 2 週間前にキャンセルした場合、プログラム費は返金しない。申込登録費は返金しない。
8. プログラム実施途中でキャンセルした場合、いかなる理由があっても、一切返金しない。
9. ICC（International Communications Council）及び ICC が認める現地運営団体の責任内で、プログラムが始まる前に、プログラムをキャンセルしなければならない事態が発生した場合、受け取った留学費用（申込登録費とプログラム費）を全額返金する。
10. ICC（International Communications Council）及び ICC が認める現地運営団体の責任内で、プログラム実施途中でプログラム日程を短縮しなければならない事態が発生した場合、プログラム費は日割計算で返金する。申込登録費は返金しない。
11. 天災・政変その他 ICC（International Communications Council）及び ICC が認める現地運営団体の自己の責めに帰することができない事由により、本プログラムが前提とする通信手段（通信網、通信アプリの双方を含む）が途絶し使用不能となった場合、オンラインコースは配信しない。オンラインコースに関する契約は解除し、返金はしない。通信手段が回復した段階で、振り替えオンラインコースを実施する。振替期間は 1 年以内とする。
12. テロ、戦争などの不測の事態が発生し、日本外務省より英国への渡航禁止が正式に発令され、及び、英国外務省より英国への入国禁止が正式に発令された場合など、自己の責めに帰することができない事由により、本プログラムの実施が不可となった場合、ICC が指定する別の日程に変更して代替プログラムを実施する。なおこの事に伴い発生するキャンセル料（例：航空券のキャンセルなど）、追加費用などは、参加者の負担とする。本契約のプログラムの留学費用は変更後別日程の留学費用に振当てる。返金はしない。但し、ICC が指定するオンラインコースに振替えた場合は、ホームステイ費用の実費を返金する。振替期間は 1 年以内とする。
13. 研修参加者は、海外旅行傷害保険に加入しなければならない。研修期間中に起きた不慮の事故、または参加者自身の故意・過失による怪我・病気もしくは死亡した場合に起きる諸費用は、保険によって賄わなければならない。
14. 本合意書の定めに対し、これによって相手方に損害を与えた場合は、相手方に対して当該損害を賠償しなければならない。本契約に他の定めがある場合には、当該定めを優先適用するものとする。

## 危機管理について

- ・病気の時は、ケンブリッジ大学病院が対応します。  
Addenbrookes Hospital Hills Road, Cambridge 電話番号 01223 245151
- ・The Porter's Lodge (大学守衛室)は 24 時間対応です。
- ・学内には、防犯カメラが設置してあります。

## 英国入国について

英国入国管理事務局からの指導により、ICC (International Communications Council) ならびに ICC が認める英国の運営団体は、研修受講生の年齢に関係なく、学生、添乗員・引率者など、全員のパスポート(身分証明書)のコピーの提示を求める場合がある。

## 受講生の個人情報について

- ・受講生に緊急事態が発生した場合には必ず保護者または保証人が対応できることを確認してください。
- ・受講生の身体的ならびに心理的(例:過食症、拒食症など)状況について必ず報告してください。これは、受講の可否を決める基準ではありません。
- ・受講生の食事療法(例:食物または動物アレルギー、菜食主義など)について必ず報告してください。
- ・到着時に身分証明書発行のために受講生の写真を撮る場合もあります。

## 研修受講生の規約事項

1. 研修受講生は、留学・研修プログラム及びその付帯行事中に下記の禁止事項を行わない。
  - ・法令で禁じられている行為
  - ・学校・施設への危険物の持ち込み
  - ・騒音・怒声等を発したり、暴力を用いる等の迷惑行為
  - ・授業への遅刻・無断欠席(事故・病気等やむを得ない理由を除く)
  - ・その他、ICC (International Communications Council) 及び ICC が認める現地運営団体が不適切と認める行為

また、上記に違反する行為が認められた場合は自費での帰国に同意する。
2. 研修受講生は、留学・研修プログラム及びその付帯行事の開催中、研修受講生個人の所有品に対し、自己責任において一切の責任を持つ。
3. 研修受講生は、留学・研修プログラム中及び付帯行事の開催中に負傷または死亡事故が発生した場合、研修受講生自身及び研修受講生の家族代表者、保護者等関係者はその原因の如何を問わず、傷害保険による保険金給付のほかは、ICC (International Communications Council) に対する責任の一切を免除する。
4. 研修受講生および研修受講生の保護者(保証人)は、研修受講生が留学・研修プログラム及びその付帯行事に負傷したり、事故に遭遇したり、あるいは発病した場合には、研修受講生に対し適切な処置が施されることに異議ありません。
5. 研修受講生および研修受講生の保護者(保証人)は、留学・研修プログラム及びその付帯行事に関連する放送、テレビ放映、新聞等の報道、インターネット、ポスターや文書等に、研修受講生の氏名や写真を使用される場合があることを了承する。

※学術或いはスポーツなどで業績が認められた場合などを除いては、写真と共に個人名が掲載されることは稀です。
6. 研修受講生は、悪天候、災害、戦争、テロ等、ICC の責任によらない事態の発生により、留学・研修プログラム及びその付帯行事が留学・研修プログラムが始まる 1 ヶ月以内に中止になった場合、研修受講生が支払った参加費等の一部または全額が返金されない場合があることを了承する。
7. 研修受講生は、留学・研修プログラム及びその付帯行事への応募書類のすべての記載事項が参加する本人の真実かつ正確であることを了承する。
8. ICC (International Communications Council) が研修受講生の個人情報を関係機関に運営管理目的のために提供することに同意する。